

今週（1月29日から2月2日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、前週に引き続き邦銀業態からの資金調達ニーズが強く、レートは高水準で推移する展開となった。

無担保コールO/N物は、週を通して▲0.01%を上回る水準での出合いが中心となった。31日(水)には、月末要因により、一時的にビッドを控える先も見られたが影響は小さく、概ね同水準での取引が継続された。2月2日(金)は、週末3日積みとなった事で、小幅ながら一段と上昇する結果となった。

ターム物は、ショートタームを中心に▲0.02～▲0.01%近辺での出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、29日(月)に財政資金の払いを受けて540兆円台まで増加してスタートした。その後は、30日(火)に気候変動オペや国債買入オペ等を要因に543兆円台半ばまで増加した。しかし2月1日(木)以降は減少に転じ、2年債の発行や税・保険料揚げにより、530兆円程度まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね▲0.085～0.000%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3M・1Yゾーンが軟調に推移した。

入札については、2日に3M物が実施され無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは小甘い推移となった。

短国買入オペは、30日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は月末週にあたり、化学、海運、鉄鋼等、幅広い業態で大型発行が行われ、活況なマーケットとなったものの、償還物の継続案件が中心であったため、市場残高は27兆円前後と大きな増減は見られなかった。

発行レートは、日銀適格担保銘柄の期内物の案件については概ね0%から小幅なプラスレートでの出合いが中心となった一方で、3月末を超える案件については、政策変更への警戒感から、レート水準にばらつきがみられた。また、非適格担保銘柄や残高が膨らんだ銘柄については、引き続き投資家のレート目線の上昇がみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
1/29（月）	36,026.94	0.720	148.22	△ 0.011	△ 0.081	5,406,000
1/30（火）	36,065.86	0.705	147.32	△ 0.011	△ 0.086	5,434,900
1/31（水）	36,286.71	0.730	147.50	△ 0.011	△ 0.084	5,436,900
2/1（木）	36,011.46	0.690	146.75	△ 0.010	△ 0.080	5,402,900
2/2（金）	36,158.02	0.655	146.39	△ 0.008	△ 0.071	5,302,800

来週（2月5日から2月9日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/5 (月)	2月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	10Y物価連動 2,500億円 2/6発行			1月のISM非製造業景況指数
2/6 (火)	12月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 12月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)				
2/7 (水)	1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y 9,000億円 2/8発行			12月の米貿易収支 12月の米消費者信用残高
2/8 (木)	12月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 1月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TB6M 40,000億円 2/13発行	エネルギー 対策借入 6,500億円 2/20借入		12月の米卸売売上高
2/9 (金)	1月のマネーストック(日銀 8:50) 12月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB3M 58,000億円 2/13発行	5Y 25,000億円 2/13発行		

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/5 (月)	900	▲ 2,000	▲ 1,100	国債買入 国債補完 CP買入	33,300 ▲ 100	14,600	47,800	46,700	TB3M発行▲56,000 償還56,000 交付税借入▲12,500 期日12,000
2/6 (火)	500	▲ 2,500	▲ 2,000				0	▲ 2,000	10Y物価連動発行▲2,500
2/7 (水)	1,000	2,000	3,000	全店共通	▲ 8,500		▲ 8,500	▲ 5,500	
2/8 (木)	500	▲ 9,000	▲ 8,500				0	▲ 8,500	30Y発行▲9,000 交付税借入▲12,500 期日12,000
2/9 (金)	400	2,000	2,400				0	2,400	
週 間 合 計	3,300	▲ 9,500	▲ 6,200	—	24,700	14,600	39,300	33,100	

2/5は日銀予想、2/6以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれるため、レートは高水準での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.12～0.00%レンジでの取引が予想される。また、市場調節の動向にも注視したい。短国市場は、8日(木)に6M物、9日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、6日(火)に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、8日(木)に日銀のCP等買入オペが予定されおり、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では8日(木)に12月の国際収支、海外では、5日(月)に1月のISM非製造業景況指数、7日(水)に12月の米貿易収支などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入